

50代から考える 夫婦のライフプラン講座を開催



2018.6.23(土)

第6回から、日帰りセミナーとして開催して今回で3回目となります。今回もより多くのご夫婦の方に参加していただくことを目的として参加年齢を引下げて、「50代から考える夫婦のライフプラン」として渋谷エクセルホテル東急においてセミナーを開催いたしました。

人生100年時代に向け ライフプランを作成

「人生100年時代」と叫ばれる今日、『ライフ・シフト』の著者リンドン・グラットン氏によれば、今後は100年生きる前提での人生設計が必要であると言われており、特にマルチステージとリカレント教育の理解が重要になります。

夫婦単位を原則として、夫婦いづれかが49歳から63歳までの方々8組、14名が参加しました。初めは緊張していた参加者も講師の方々の和やかな雰囲気の中で講義に、次第にリラックスされていきました。内容は、定年後のお金の計算を基に専門の講師の指導を受けて夫婦でライフプランの作成に取り組み、定年後の生活設計を具体的にイメージしてもらうものです。



基調講演をされる
井上講師



「年金に関する基礎知識」を
解説される大橋講師



熱心に講義を受ける参加者

講師は、(株)活性化セミナー研究所代表の井上国春氏ら2名です。はじめに同社ライフプランコンサルタントの井上講師による基調講演「働きざかりをいきいき」と題して、生きがいに関わる4つの心配事についての講演がありました。次に大橋講師が「年金に関する基礎知識」について解説されました。

豊かな老後に 必要な事前準備

昼食後は、60歳〜80歳までの20年間の長期家計プラン作成の説明がありました。その後は、「100歳人生を指して」と題して、「マルチステージ」と「リカレント教育」について説明をいただきました。さらには、わが家のライフプランとして、夫婦で一枚、生活の長期計画を相談し合いながら策定

していただきました。それを基にライフプラン「知恵の交換会」と題して、2グループに分かれ参加者全員によるそれぞれの長期家計プランについて自由に討議を行い、お互いの情報共有化を行いました。他の方の考え方を聞くことによって、参考になる部分を積極的に取り入れることも大切であるとの説明がありました。

講義やグループ討議を経て、参加者には「健康・お金・時間・生きがい」などについて真剣に考え、豊かな老後を送ることができるよう事前準備の必要性を感じていただきました。作成したプランも年に1回見直しメンテナンスすること、より良いものになるとのアドバイスをいただきました。参加者は、事前準備も含めてライフプランセミナーを積極的に受講されているのが大変印象的でした。また、参加者からは「講師の先生方の説明が大変に分かりやすく良かった」、「勉強になった」という多数のアンケート回答をいただき、ライフプランセミナー開催の意義を感じています。



グループ討議
「知恵の交換会」